



農業経営支援課 山村 哲平

## 令和7年産に向けたおすすめ農薬・肥料

# 米

来年に向けて準備も始めている時期とします。近年はイネカメムシの多発もあり斑点米カメムシによる等級低下が多く、真夏の高温障害による心白粒、腹白粒も増えています。令和7年産用の「水稻肥料農薬年特予約注文書」掲載予定のおすすめ農薬、肥料を防除や土づくりの参考にして頂き、令和7年産に向けて万全の準備を行いましょ。

### カメムシ類の防除

#### 【散布剤】

#### ・エミリアフロアブル

最近の新規農薬でウンカ類、ツマグロヨコバイ、カメムシ類に高い効果を発揮します。※登録作物が水稻のみとなっています。防除散布の際はドリフトに注意してください。

#### 【粒剤】

#### ・スタークル豆つぶ 250g

使用時期…収穫7日前まで

使用量…250g/10a

使用回数…3回以内

適用害虫…カメムシ類、ウンカ類、ツマグ

ロヨコバイ

ウンカ類やカメムシ類に対して高い殺虫効果を示します。加えて、カメムシ類に対する吸汁阻害効果を有し、効率的な斑点米抑制効果が期待できます。

**近年、イネカメムシの発生が目立っています。出穂始めから2〜3回防除を徹底しましょう！**

### 異常気象に負けない米作りのために

近年の異常高温の中で収量の増加や良質な米を生産する為には地力の有無や根張りが大切です。根張りを良くし、茎や葉を丈夫にして倒伏防止、病害虫の軽減、登熟向上に役立つケイ酸を含む土壌改良材を施用し「土づくり」を行いましょ。

#### 【土壌改良材】

#### ・けい酸加里プレミア 34

ケイ酸34%、カリ20%、苦土4%、ホウ素0.1%  
施用量(10aあたり) 2〜3袋

**ケイ酸とカリの作用により根の活性を高め、高温障害を低減する効果が期待できます。**